

# 千曲市ギャラリーについて

【ご意見】（令和7年7月28日受付）

現在のギャラリーでは、利用者が多く机と椅子が不足している状態です。作業や学習、休憩のために利用方々がとても不便に感じる場面が多く受けられているので、机と椅子の増設をしてほしいです。

【回答】

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

ギャラリーは、本来、市庁舎、ことぶきアリーナ千曲及び立体駐車場を結ぶ「通路」ではありますが、余裕スペースを来庁者やとぶきアリーナ千曲の利用者の皆様に、憩いの場、交流の場としてご利用いただくほか、酷暑を避けるクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）としてもご利用いただいております。

最近では、学生の皆様の学習スペースとして定着してきており、特に夏休みの期間中は、非常に多くの学生の皆様にご利用いただき、一般の方が利用しづらい状況が生じています。

この状況を受け、様々なニーズに対応できるよう、またできるだけ多くの方々に利用していただけるよう、学習用の座席と一般の方の座席を区別したり、座席を増やすなどの工夫をしてみましたが、スペースに限界があることや、火災や地震発生時にスムーズな避難誘導に支障が出ることから、これ以上座席を増やすことは難しい状況であることをご理解いただきたいと存じます。

そこで、特に利用者数の多い学生の皆様には、更埴図書館や屋代駅市民ギャラリーなど学習スペースを有する別施設を紹介し、利用者の分散を図るとともに、長時間の利用者には、可能な範囲でお声がけをするなどして注意喚起をしています。

担当 総務課